

明石市立大蔵中学校だより「2020年3月2日(第42号)」

書あり 師あり 友ありて



ありがとう73回生!

学校長 平田 高之

新型コロナウイルス感染症対応のために、明日より突然の臨時休校措置となり、3学年が前うのは本日が最後となってしまいました。3年生のために、第74期生徒会執行部を中心に、各学年で取組を進めてくれていましたが、それも披露してもらえなくなり教職員一同大変残念ですが、一部本日3年生の前で披露してもらえました。1・2年生には、新入生歓迎会で、取組の成果を発揮してほしいと願っています。

73回生とはわずか1年の縁でしたが、18年ぶりの現場で73回生に出会えたのは、私の人生の中の幸運の一つだと思っています。新入生歓迎会での迫力のある群読と合唱に「すごいなあこの生徒たちは!」と素直に感動しました。修学旅行の唐津でのペーロンの後で、大変時間が弾んでいたのが、女子がアツという間に体操服から制服に着替え走って戻ってきた姿は、私はもちろん、バスガイドさん、運転手さん、添乗員さんも驚かされていました。スローモーション映像のように、その場面に脳裏に焼き付いています。平和集会での合唱や修学旅行中の73回生の動きも、疲れている中でも素早く本当に気持ちのいい集団行動ができ、いつも集合時間より早く集まってくれたおかげで、明石駅への帰りが早くなり過ぎて、保護者の方から到着時間より早過ぎるとお叱りを受けたぐらいでした。

部活動での躍進ぶりも大変頼もしかったですし、応援にも力が入りました!奇跡の逆転劇や最後まであきらめない粘り強い戦いぶり、はじける笑顔や悔し涙を流していた姿は、本当に青春してるなどという感じ、私も胸が熱くなりましたし、きっとこれからの力になると信じています。

体育大会での取組は、夏休み中の本当に暑い学友館でのマスケムリーダーたちの真剣な練習ぶりは圧巻でした。もちろん、その後の練習や当日の演技は言うまでもない素晴らしいものですが、何より自分たちでいいものを作り上げるんだという気持ちをいつも感じていました。

文化発表会での取組も、どのような合唱を作り上げるのか楽しみでしたが、限られた練習時間の中で、リーダーを中心に、この学年の強みである男女の仲の良さを発揮し、市民会館に学年合唱のハーモニーを響かせてくれました。それと、矢野先生が学級合唱の審査結果発表する時の女子生徒の歓喜の声!とても印象的でしたし、代表クラスは連合音楽会でも素晴らしい歌声を披露してくれました。

本年度は、昨年度の授業時数不足を受け、授業時数確保のために、テストの日程変更、行事の取組を放課後で実施、毎日6時間授業の連続でしたが、学習と部活動の両立を見事果たし、朝読書、授業中も集中し、学習面でも成果を十分に発揮してくれました。また、9月から週2回放課後に行ってきた学習補充教室「数学・英語応援団」にも28日間で、のべ739名が、その中で皆勤2名、1回欠席5名、2回欠席7名と、約半数の生徒がほとんど毎回参加しました。しかも、私立高校や公立高校の推薦で進学先が決まった後も、高校に行ってからのためにと参加し続ける生徒もいました。このような努力の積み重ねが、12日の公立高等学校入学者選抜試験や卒業後の新しい環境でも生きてくると信じています。最後まで走り抜け73回生!

生徒たちに「夢」と「希望」を持つと言う前に

いろんな場面で、私たち教員は、生徒たちに「夢」や「希望」を持つように話をします。「学校だより No.28」で、東京オリンピック卓球女子団体のメンバーに選ばれた平野 美宇選手のお母様、平野真理子さんの講演のお話を紹介させていただきました。

「大人が夢を持つ。そして、その夢に向かって笑顔で頑張る姿を見せることで、子どもが大人になることへの夢を持って、その夢に向かえるすてきな子どもに育ちます。」

では、自分自身はどのような「夢」を持っているのか自問してみました。

本校に着任する前は、市教育委員会で5年間、各学校ではなく、市全体の教育活動の充実を図るための仕事をさせてもらっていました。その当時から、泉市長はトリプル3(人口 30 万人・本の貸し出し冊数 300 万冊・出生数 3000 人)を掲げられ、特に、「子どもを核とした町づくり」に重点を置かれていました。全国に先駆け第2子の保育料等の無償化、駅前に再開発ビルに子育て支援の施設を充実させる等、さまざまな施策を行われました。その結果、兵庫県は人口減が続く中、明石市は中核市となり、人口が増え続け、30万人にも後一步というところまでになりました。

その時から思っていたことは、明石市を選んで移り住んで来られる若い世代の方々が、その理由が当面している子育てのための環境の充実だけでなく、「いずれ進学する明石の小中学校の教育内容が素晴らしいからという理由をあげてもらえるようにしたい!」というのが、「夢」や「希望」であり、「ミッション」だと思って仕事をしていました。大蔵中学校に勤めさせて頂いている現在は、4月に「学校だより」でもお知らせしましたが、今の私の「夢」や「目標」は

○すべての生徒が来てよかった学校

○すべての保護者が預けてよかった学校

○すべての教職員が勤めてよかった学校

で、大蔵中学校を、生徒・保護者・教職員から「求められる・選ばれる学校」にすることです。

私たちの自慢の73回生が、自分たちの卒業した中学校を誇りに思えるよう、引き続き「夢」を実現するためにも、教職員と保護者・地域の皆様が「ONE TEAM」となり、74回生を中心に生徒たちの力を最大限引き出せるよう、教育活動の充実にも努めてまいります。

第73回 卒業証書授与式について

このことについて、2月28日のお知らせの中でもお伝えしましたが、明石市としては、今後の感染の広がりなどをみながらとされていますが、実施の方向です。生徒の健康面を、特に、公立高等学校入学者選抜試験を控えている生徒が、よりよいコンディションで受検できることを第一義に、内容を検討しています。基本的な考え方としては、卒業生が中心となり活動する部分を優先し、それ以外の部分を削除し、式全体の時間を短くするためにプログラム内容を精査しています。具体的には

○在校生の出席は生徒会執行部の生徒のみとし(残念ながら吹奏楽部の演奏もなくなります)できるだけ保護者席の間隔をゆったりして確保する。

○来賓のご出席について最小限の範囲でお願いする。 ○祝電祝詞の披露は行わない。

○保護者の代表のご挨拶は生徒退場後をお願いする。等

を検討しています。また、なかなか手に入らず大変ですが、マスクの着用をお願いします。今後感染拡大等状況の変化があれば、さらに制限が効くかわかりませんが、心のこもった卒業式で73回生を送り出せるように準備を進めていきたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。